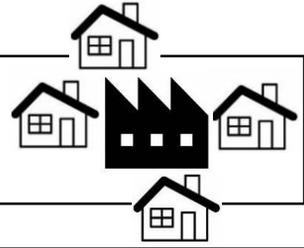


～企業立地方針の改定の背景と概要について～

背景

住工混在の問題

- ・工場の周辺に住宅が増えたことにより、操業しにくい。
- ・事業拡張をしたいが、住宅地が広がっており、拡張できない。



新たな企業誘致

- ・市内の働く場の創出や市の新たな財源の確保のために企業誘致は不可欠
- ・我孫子市への進出を希望する企業からの問合せ 約10件/年

↓ ~~移転誘致~~

- ・住宅都市として発展したため、近隣市と比較しても工業系地域が少ない。
- ・工業系地域は既に利用されており、新たな工場等が立地する余地はない。

結果として…

- ◆市内に移転先がないため、市外へ移転してしまう。
- ◆市内に誘致先がないため、ニーズに応えられない。

●平成29年度：我孫子市産業拠点検討調査の実施

市内10か所（市街化調整区域）を調査対象地区として設定し、産業拠点となり得る適地創出に向けた検討を行う。

●平成30年度：「我孫子市産業拠点土地利用について」の策定

平成29年度に実施した我孫子市産業拠点検討調査の結果を踏まえ、産業拠点土地利用における市の方向性を示す。

“働き方改革”…働く人々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で「選択」できるようにするための改革



「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」や「働くスタイルの多様化」などの課題・変化に対応するためには、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが必要である。

改定の概要

◎産業用地を創出するエリア (P.15,16)

平成30年度に策定した「我孫子市産業拠点土地利用について」で示した産業拠点土地利用に係る市の方向性について、企業立地方針に位置付けるもの

◎働き方改革で謳われる多様な働き方の実現や女性の活躍推進 (P.19,20)

テレワーク、サテライトオフィスの開設・支援や女性起業支援イベント等を実施事業として位置付けるもの

上記改定と併せて、

市の現状と課題の整理 (P.4～P.12) と全体の構成の見直しを行うもの